

I. 行政改革の工程表（ロードマップ）の作成について（別冊 資料一覧 P.5 参照）

（市からの提示内容）

現状

ロードマップとは

具体的な達成目標を掲げた上で達成した場合の波及効果を示し、目標達成の上でやらねばならないことなどを列挙し、優先順位を付けた上で達成までの大まかなスケジュールの全体像を、時系列で表現したものの。

■ ロードマップの概要、役割と意義

ロードマップの作成によって、目標達成が効率化される。

■ ロードマップ作成、活用の流れ

- (1) 問題点と目的の明確化
- (2) ロードマップ本体の作成
- (3) 具体的な行動計画への落とし込み

課題

市役所体質を早急に改善し、中長期的な財政健全化を図りながら、引き続き健全な市政運営を維持・発展させるためには、経営感覚を高め、より一層の行政改革を推進する必要があります。

そのようなことから、早急に緊急策を講じることを念頭に置いた全庁的な取り組みが求められ、行政改革推進の指針となるロードマップの策定が必要です。

今後の取組

『何を、いつまでに、どのように』改革するのかを示した工程表（ロードマップ）を資料一覧 P.5 の考えを基に平成 21 年度の早い時期に作成し、公表します。

（市民による行政改革委員会の意見）

提言

市職員及び市民や議会に行政改革を誰がいつまでに何をどのように(5W1H)進めていくか明示が必要です。ただし、作成したからには市長を先頭にこのロードマップを行政改革の目標として推進し実績を挙げて下さい。

意見一覧

- 行政改革推進課で作成された資料を、出来るだけ分かりやすく、簡単、明瞭にしたうえで職員の理解を求め、進めて頂ければ良いと思います。しかし、絵にかいたモチとならないようにして下さい。
- ロードマップ作成に賛同します。職員の大きな負担にならないよう迅速に推進してください。
- 特に幹部は、長の方針をよく理解し、率先して実行し、長を支え、そのことの一日も早い実現のために部下を指導することです。
- 合併して四年が過ぎようとしています。改革のスピードが遅すぎます。せめて5,6年ではっきりした成果を出して欲しいと思います。遅れている原因、責任がはっきりしていません。このことが市民にとって、どれほどのマイナスになっているか知る必要があります。職員は給与に見合った仕事をする事です。
- 職員は事務、事業において、公務員としての服務規程に徹する仕事をする事です。実行していれば問題は起きないはずで。
- 目標を定めて進めていくというのは良いです。案（資料一覧 P.7）のとおりに進めてもらえば良いと思います。ただし、目標も時勢とともに変わっていきます。臨機応変に対処して下さい。